

たんぽぽ

2017. 1. 12.



2017 年を迎えて

1/11 に、設置校の校長や市教育委員会の方を迎え、3 学期始業式を実施しました。現在小学生 3 名中学生 1 名が学習参加をしていますが、子どもたちは車椅子やベッドのままで、始業式に参加することができました。

新しい年を迎え、いろいろなことを「新しく考える」きっかけにしよう（小児病棟主任橋田医師）、入院中でも勉強ができる（院内学級という）しくみがあるのは幸せなこと（重信看護主任）、毎日の小さな目標からステップアップしていきましょう（渡邊保育士）など、病棟スタッフの皆さんからも励ましの言葉をいただきました。

教育委員会の水野指導主事は、「今年は酉年。十二支を表す漢字はもともと植物の生長を表す文字で、酉は『成熟する』という意味がある。昔の日本人は、農作物の成長の時期をわかりやすく十二支にあてはめた」という内容をわかりやすく話してくださいました。

入院中の子どもたちは、患者であると同時に学校に行っている児童生徒であるということを忘れず、退院後、スムーズに学校へ戻れるようにするために、今年も北里学級はその役割を果たしていきたいと思っています。



「生きがい型満足感」が寿命を伸ばす!?

「センテナリアン」という言葉をご存じですか?100 歳以上の方のことで、日本には 6 万 5 千人ほどいるそうです。

健康長寿のためには、誰でも体内に持っている「慢性炎症」を押さえること

が重要で、そのためには次の 3 つの要素が大きく関わっています。

1. 運動
2. 食事
3. 満足感

適度な運動とバランスの良い食事の大切さは言うまでもありませんが、「満足感」について少し考えてみたいと思います。

満足感には、「快楽型」と「生きがい型」の 2 種類があります。たとえば食べ放題のお店で好きな物を満腹になるまで食べ尽くすことや、好きなゲームをやりたい放題やってしまうなど、自分の欲望を満たした後の満足感は「快楽型」です。一方、他の人のために役に立てたことや、ボランティア活動など人の幸せのために頑張ることができた、などは「生きがい型」です。このうち「快楽型」の満足感は、ストレスと同じ働きがあり、慢性炎症を助長させてしまう傾向があり、「生きがい型」の満足感こそが慢性炎症を抑え健康で長生きできる大きな要素になっているのです。

2017 年は、ぜひ「生きがい型満足感」をたくさん得られるように心がけて生活するようにしたいですね。

(2017/1/10 麻溝台中学校始業式 養護教諭説話より)

病院と学校の連携を目指して

北里学級は双葉小学校と麻溝台中学校の病弱・身体虚弱特別支援学級ですが、相模原市内には、他に 9 校に病弱・身体虚弱特別支援学級が設けられていて、医療的ケアが必要な児童生徒が通っています。

来月、北里学級を会場にして、これらの学校の病弱学級担当の先生方の会議が行われます。教育委員会の担当者や特別支援教育担当の校長先生も参加するほか、北里大学病院から NICU 主任の鉤持学先生にも参加をお願いしています。昨年は北里大学病院で、医療と教育がそれぞれの立場で、連携して子どもたちを支えていこうという取り組みがおこなわれました。(7/24 パンダの会主催シンポジウムなど)

今年も、病気の治療を続けながらも、教育による支援を充実させる取り組みを続けていきたいと考えています。

北里学級オリジナルカレンダー まもなく病院内にお届けします

